



世界自然遺産観光振興 シンポジウム

PROMOTING TOURISM TO WORLD NATURAL HERITAGE SITES

参加
無料

開催日

1/28
2026 水

14:00 - 16:30

オンラインZoomウェビナー

登壇者(第一部)



宮崎美子氏



南圭介氏

世界自然遺産をもっと身近に。

地球の成り立ちと人類の歴史によって生み出され、過去から未来へとつなぐべき、かけがえない宝物である世界遺産。この中でも世界自然遺産は、特徴的な地形や生態系、生物多様性を有し、大自然が織りなす美しい景色が魅力です。

本シンポジウムでは、数々の番組に出演し、世界遺産検定1級を取得されている女優の宮崎美子さんと旅好きで世界遺産検定マイスターも取得されている俳優の南圭介さんによるトークセッションを実施します。

さらに各地の有識者より知床、白神山地、小笠原諸島、屋久島、奄美・沖縄の日本の世界自然遺産の魅力をご紹介します。世界自然遺産を体験し、学び、未来へと引き継ぐために、いまこそ『世界自然遺産』の魅力を発見する旅にでかけましょう。

参加特典

対象
世界自然遺産に関心をお持ちの方は、どなたでもご参加いただけます。

定員
500名
※オンラインZoomウェビナーで開催
(事前予約制)

シンポジウム参加特典&アンケート回答特典として下記2点をプレゼント!

①リアルタイム視聴された方全員にプレゼント
オンラインミーティング壁紙 (日本の世界自然遺産仕様)



②リアルタイム視聴&アンケート回答された方にプレゼント
東京都公式アプリ「東京アプリ」のポイント(東京ポイント)を、
1名につき500pt付与 ※詳細はアンケートご回答後にご案内いたします。

HOW TO PARTICIPATE

参加方法

01



左の二次元コード
からシンポジウムに
お申し込みください。

02



開催日の前日までに
ご参加方法を
メールにてご案内
いたしました。

03



当日開始時間に
なりましたらURL
よりアクセスを
お願ひいたします。

※開始時間の5分前には設定を完了していただきますようお願いいたします。

シンポジウムプログラム

第一部 14:00-15:00 トークセッション

テーマ

Keynote speech & panel discussion
旅と共生

世界自然遺産について造詣の深いお二人にご登壇いただき、お二人のご経験をまじえながら、旅と日本の世界自然遺産の共生について考えるトークセッションを行います。

女優 宮崎美子氏

熊本県生まれ。80年、雑誌の表紙モデルに起用された後、カメラのCMで話題に。同年テレビドラマにて女優デビュー。以降、映画、ドラマ、舞台、声優など数々の作品に出演。テレビのクイズ番組でも活躍している。2000年日本アカデミー賞優秀主演女優賞、ブルーリボン賞助演女優賞を受賞。2020年に「世界遺産検定1級」取得。



俳優 南圭介氏

2004年映画『少年と星と自転車』でデビュー。2022年にはEテレのNHK高校講座『地理総合』にMCとして出演を果たす。『世界遺産検定マイスター』を獲得し、現在は『朝だ！生です旅サラダ』の海外リポーターとしても活躍中。雑誌『GINGER』のWEBでは世界遺産の知見を生かして旅コラムを執筆している。ウズベキスタン観光大使(2024年～)、白神山地魅力発信アンバサダー(2023年～)



第二部 15:00-16:30 日本の世界自然遺産プレゼンテーション

各地域の特徴、魅力、アクセス方法から地元の人しか知らないコアな情報まで、現地の有識者によるプレゼンテーションを行います。質疑応答の時間も設けております。



知床
唯一無二の自然が織りなす生命の地

2005年に登録された知床は、北海道の東部に位置し、北半球における流水の南限とされ、独自の自然と生態系が息づいています。ヒグマやシャチなどの大型ほ乳類、絶滅のおそれがあるシマフクロウをはじめとするたくさんの野生動物が生息しています。火山活動や浸食活動により形成された険しく雄大な自然景観、大自然でのトレッキングや流水ダイビングなど、他では味わえない体験ができます。



白神山地
太古のブナが息づく原始の森

1993年に登録された白神山地は、秋田県北部と青森県南西部にまたがる約13万haにも及ぶ広大な山地帯です。ここは東アジア最大級の面積を誇る原生ブナ林が広がり、狩猟や採取など山と共生してきた「マタギ」文化に触れながら、五感を癒す森でのひとときを楽しめます。ブナ林には多種多様な動植物が生息・自生しており、中でもニホンカモシカは特別天然記念物に指定されています。



小笠原諸島
絶海の孤島で育まれた「進化の実験場」

2011年に登録された小笠原諸島は、東京都心から約1,000km南に位置する亜熱帯の島々です。海には野生のイルカやクジラ、ウミガメが来遊しボニンブルーと称される海の色、透明度は多くのダイバーを魅了しています。陸においては、島誕生後一度も陸続きになったことがないため、地球上で小笠原にしか存在しない動植物が多数生息しています。



屋久島
生命が息づく「洋上のアルプス」

1993年に白神山地とともに日本で初めて世界自然遺産に登録された屋久島。亜熱帯と温帯域の狭間に位置した花崗岩の山岳島であり、多くの雨に恵まれ、樹齢数千年の屋久杉をはじめ特殊な森林生態系と山頂から海まで続く豊かな水環境は、遺産登録の評価基準となっている自然の景観美と共に多くの生命を育んでいます。また黒潮が流れる周辺の海域には海洋生物が多く生息しており、北太平洋で最も多くアカウミガメが産卵する地域にもなっています。



奄美・沖縄
独自の進化が息づく亜熱帯の島々

2021年に登録された奄美・沖縄は日本列島の南端部に、約1,200kmにわたって弧状に点在する琉球列島の一部であり、鹿児島県の奄美大島と徳之島、沖縄県の沖縄島北部と西表島4つの地域から構成されています。イリオモテヤマネコやアマミノクロウサギなど、絶滅危惧種95種を含む陸生動植物が息づく豊かな森と透明度の高い海が特徴です。

